

関係をみる臨床をめぐって

西南学院講座 in Tokyo

2019 11/9

土

12:00開場

12:30~17:30 (終了予定)

ステーションコンファレンス東京602BCD室 (サビアタワー 6階)
〒100-0005 東京都千代田区丸の内1-7-12

定員 120名 (先着順に受け付け、定員になり次第締め切ります)

企画のねらい

2013 (平成25) 年秋から西南学院講座 in Tokyoにて私は講座を企画するようになり、以来毎年2回開催してきました。一つには哲学と臨床をつなぐ企画を柱としつつ、「関係」と「情動(甘え)」に力点を置く関係発達臨床の啓蒙をもう一つの柱としてきました。そのなかで臨床従事者にとって重要なことは自らの実践体験を意識化し、他者と共有する道を探ることではないかとの共通認識を得たように思います。ついこの前まで精神(心理)療法の世界で認知行動療法がもてはやされていましたが、今では「関係」と「情動」に焦点を当てた精神療法の流れが世界で大きな潮流となりつつあります。それを後押ししているのがアタッチメント研究です。母と乳児のこぼれない情動の世界でのコミュニケーションとそこでの体験が子どもの生涯発達に強い影響を及ぼすことが次第に明らかになりつつあるからです。そこで今回は、これまで本講座に参加され、共に学んでこられた皆さんとともに、「関係をみる臨床」の意義について改めて考えてみたいとの思いから企画しました。来春(2020年)、私は定年退職を迎えますので、今回が最終講座となります。参加費は無料でどなたでも参加できます。みなさん、奮ってご参加ください! (企画: 小林 隆児)

スケジュール

12:30 - 12:40 主催者側の挨拶

12:40 - 13:40 基調講演

小林 隆児 (精神科医、西南学院大学教授)

「関係発達臨床と私—臨床研究から臨床教育へ—」

(休憩20分)

14:00 - 15:40 シンポジウム「関係をみる臨床をめぐって」

シンポジスト(順不同)

- 才野 均 (精神科医)
「小林先生との出会いと自分の臨床の変化」
- 伊藤 晴通 (小児科医)
「関係臨床を学んで—一般小児科外来との接点—」
- 塚野 喜恵 (小児科医)
「子どもの育ちをどう支えるか—小児科における関係発達臨床—」
- 佐川 眞太郎 (臨床心理士)
「『関係』を学ぶことと臨床に生かすこと—徒弟としての学び—」

(休憩20分)

16:00 - 17:30 総合討論 (進行役 小林 隆児)

総合司会 近藤 香 (臨床心理士、ヒューマン・フロンティア)

※講座の運営に支障をきたす行為をされた場合は、ご退席いただく場合がございます。
※受講申し込みについては、裏面をご覧ください。

小林 隆児
最終講座

参加費
無料

どなたでも
参加できます

問い合わせ・
申し込み先

西南学院東京オフィス (サビアタワー 10階)

TEL 03-5220-3737 FAX 03-5220-3838 E-mail tokyo@seinan-gu.ac.jp URL http://www.seinan-gu.ac.jp/tokyo_office/to_outline.html

開室時間 平日 9:30~18:30 / 土曜日 9:30~17:00 (日・祝日、学院の定める休日は閉室。9月~2月の土曜日は閉室)

『西南学院講座 in Tokyo』 受講申込書

- [記入上のご注意] ①住所・氏名(フリガナ)・電話番号は、必ずご記入ください。
②年齢・職業等については、受講者層を把握し、講座の運営に役立てるために使わせていただきますので、お差し支えない範囲でご記入ください。

受講講座名	小林 隆児 最終講座「関係をみる臨床をめぐって」		
住所	〒		
フリガナ			
氏名			
電話番号			
年齢	才	職	業
メールアドレス	今回の講座をどのような機会や媒体でお知りになりましたか?		

講師	シンポジスト
<p>小林 隆児 (こばやし りゅうじ) ryuji@seinan-gakuin.jp 精神科医、医学博士、臨床心理士、日本乳幼児医学・心理学会理事 長。九州大学医学部卒業。福岡大学医学部精神医学教室入局後、大分大学、東海大学、大正大学を経て、現職。乳幼児体験がこころの臨床に及ぼす影響を探究しつつ、従来の発達障害を初めとする精神疾患理解の脱構築に取り組むとともに、最近では感性教育に力を入れている。代表的な著書に『関係をみる乳幼児期の自閉症スペクトラム』『自閉症スペクトラムの症状を「関係」から読み解く』(以上、ミネルヴァ書房)、『甘えたくても甘えられない』(河出書房新社)、『あまのじゃくと精神療法』『関係の病としてのおとなの発達障害』(以上、弘文堂)、『発達障害の精神療法』(創元社)、『臨床家の感性を磨く』(誠信書房)、『人間科学におけるエヴィデンスとは何か』(西研との共編)(新曜社)など。近々『関係をみることによって臨床はどう変わるか(仮題)』(遠見書房)上梓予定。来春(2020年)、定年退職後は臨床活動とともに「感性教育臨床研究所」(都内)(近々HP開設予定)代表として臨床教育に力を入れる計画である。</p>	<p>才野 均 (さいの ひとし) 道立子ども総合医療・療育センター・発達支援センター長 精神科医。1990年札幌医科大学卒業。同年札幌医科大学整形外科。2002年北海道大学精神科。2008年より道立子ども総合医療・療育センター小児精神科、現在に至る。関心領域は児童精神科臨床、重度障がいと家族への支援。</p> <p>伊藤 晴通 (いとう はるみち) 医療法人康晴会生和堂医院理事長、院長 小児科専門医、子どもの心相談医、スポーツドクター。1983年東邦大学医学部卒業。武蔵野赤十字病院、都立八王子小児病院、パキスタンのイスラマバード小児病院、モンゴル母と子の健康プロジェクトなどを経て、現在に至る。関心領域は小児の心身発達、東洋医学。</p> <p>塚野 喜恵 (つかの よしえ) 新潟県立新発田病院・小児心身症科部長 小児科医、臨床心理士、公認心理師。1987年新潟大学医学部卒業。2006年大阪大学大学院人間科学研究科修士。専門と関心は、小児心身医学、漢方治療、ユング心理学、関係発達臨床、子どもをめぐるソーシャルワークなど。</p> <p>佐川 眞太郎 (さかわ しんたろう) 東洋大学朝霞キャンパス学生相談室 学生相談員 臨床心理士、公認心理師。大正大学大学院人間学研究科臨床心理学専攻修了。公立教育相談機関教育相談員、公立中学校・高校スクールカウンセラーなどを経て、現在に至る。関係発達の視点から臨床心理実践・研究に取り組んでいる。</p>

お申し込みは、この用紙に記入のうえ、FAX または郵送にてお送りください。この用紙以外の任意の用紙またはハガキ、メールでも受け付けています。その場合は、必ず件名に『西南学院講座(関係をみる臨床をめぐって)』と記入してください。(申込受付確認の返信はいたしませんので、ご了承ください。)お申し込みは先着順に受け付け、**8月下旬から** 順次、受講案内を送付させていただきます。

西南学院東京オフィス

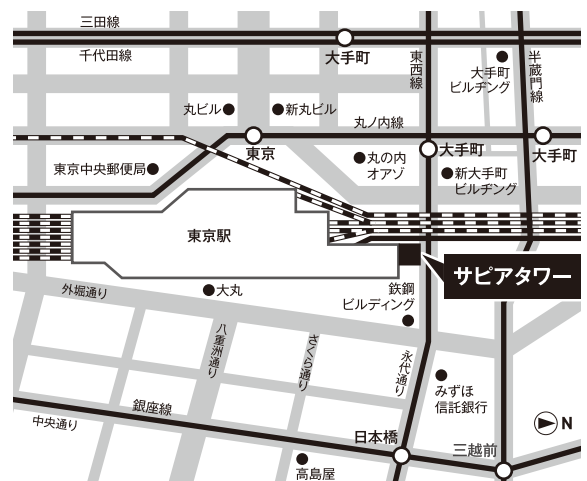
〒100-0005

東京都千代田区丸の内1丁目7番12号 サピアタワー 10階

TEL.03-5220-3737 FAX.03-5220-3838

メールアドレス tokyo@seinan-gu.ac.jp

開室時間 [平日] 9:30~18:30 [土曜日] 9:30~17:00
※日、祝日、学院の定める休日は開室。9月~2月の土曜日は開室。



JR東京駅から 新幹線専用改札口(日本橋口)より 徒歩約1分
八重洲北口改札口より 徒歩約3分
地下鉄東西線大手町駅から B7出口直結(サピアタワー地下入口)

[個人情報のお取り扱いについて]

受講申込時にお預かりした上記の個人情報は、当講座の実施・運営ならびに次回の講座や本学院主催の講演会等のご案内に使わせていただき、他の目的には使用いたしません。当講座管理・運営は、株式会社WAVEがサポートしています。(〒104-0061 東京都中央区銀座3-10-9 KEC銀座ビル9階)